

第61回産学交流サロン「ひびきのサロン」のご案内

～産学官連携による室内対応型光触媒製品の開発～

- 日 時：平成19年12月6日（木）15時00分から
- 場 所：北九州学術研究都市産学連携センター内（北九州市若松区ひびきの2番1号）
- 内 容：15:00～17:30 研究テーマ発表（詳細裏面）

○テーマ：高活性可視光応答型光触媒の開発と実用化
 ◇発表者：九州工業大学 工学部物質工学科 教授 横野照尚

○テーマ：高活性可視光応答型光触媒の抗菌効果
 ◇発表者：北九州市立大学 国際環境工学部環境化学プロセス工学科 准教授 森田 洋

○テーマ：高活性可視光応答型光触媒を使った抗菌製品の開発と商品化
 ◇発表者：株式会社フジコー 技術開発センター長付 原賀久人

○テーマ：高活性可視光応答型光触媒の防カビ効果について
 ◇発表者：株式会社西井塗料産業 新機能コーティング材担当部長 齊藤暢生

17:30～19:00 交流会&フリーディスカッション
 （軽食、アルコール等）

○会 費： 無料（交流会参加の場合、1,000円必要）

【学術研究都市ファンクラブ
 「ひびきの会」会員特典】
 ※交流会にも無料で参加いただけます！

◎コーディネータ：
 (財)北九州産業学術推進機構
 中小企業支援センター 担当部長 道家 隆博

【お申込・お問合せ】
 (財)北九州産業学術推進機構
 産学連携センター 担当：安川、江藤、牛島
 Tel: 093-695-3006 Fax: 093-695-3018
 E-mail: iac@ksrp.or.jp
 ※下記FAX用紙でも受付けております



＜ 産学交流サロン「ひびきのサロン」とは ＞

北九州学術研究都市を中心に新たな産学連携の動きが次々と生まれる風土を醸成するため、研究者、企業、行政等、多様な肩書きを持つ人々が、自由に集まり、特定の研究テーマについてディスカッションできる交流サロン（ひびきのサロン）を定期的に開催しています。
 大学、企業等の研究者が自らの研究内容を事業化の観点を踏まえて紹介し、参加者全員がアルコール片手に自由に意見交換しながら、交流を深めることで新たな共同研究開発等へ発展していくことを目指します。

第61回産学交流サロン申込用紙 FAX: 093-695-3018 (FAXにてお申込み下さい。)

貴社名			
参加者氏名 及び役職名			
【交流会について参加希望の方は○印をご記入ください】		参加希望 ・ 参加しない ・ 未定	
住所	〒 -		
Tel		Fax	
E-mail		E-mail 送信希望 ※○印をつける	希望する・希望しない・登録済

※次回以降、メール配信にて「ひびきのサロン」のご案内を希望される方は、上記【E-mail】の項目にご記入いただき、送信下さい。

テーマ：高活性可視光応答型光触媒の開発と実用化

【発表者のプロフィール】

○九州工業大学工学部物質工学科 教授 横野照尚

(略歴)

- 1988年～1990年 九州大学工学部助手(合成化学科人工酵素化学講座担当)
- 1990年～1994年 九州大学工学部助教授(合成化学科人工酵素化学講座担当)
- 1994年～2001年 大阪大学有機光工学研究センター・助教授
- 2001年～2003年 大阪大学太陽エネルギー化学研究センター・助教授
- 2003年～ 九州工業大学教授工学部物質工学科応用化学コース・教授
- (1991年～1992年 米国カリフォルニア州立大学サンディエゴ校 客員研究員(文部省在外研究員))

【発表者からのメッセージ】

我々が独自に開発した高活性硫黄ドーブ可視光応答型光触媒の調製法、触媒性能についてのご紹介と、この触媒を用いた環境浄化用の種々の応用製品の開発動向についてご紹介させていただきます。

テーマ：高活性可視光応答型光触媒の抗菌効果

【発表者のプロフィール】

○北九州市立大学 国際環境工学部環境化学プロセス工学科 准教授 森田 洋

(略歴)

- 1999年3月 九州大学大学院農学研究科食料化学工学専攻博士課程修了
- 1999年4月～2001年3月 国立八代工業高等専門学校生物工学科助手
- 2001年4月～2006年3月 北九州市立大学国際環境工学部環境化学プロセス工学科講師
- 2006年4月～ 北九州市立大学国際環境工学部環境化学プロセス工学科准教授
- (2005年4月～ 北九州市立大学循環技術研究センター兼任)

【発表者からのメッセージ】

抗菌機能性を強化した新しい可視光応答型光触媒の抗菌効果についてご紹介させていただきます。また本光触媒を用いた新しい展開として期待されている、種子殺菌法の構築に関する研究についてもお話致します。

テーマ：高活性可視光応答型光触媒を使った抗菌製品の開発と商品化

【発表者のプロフィール】

○株式会社フジコー 技術開発センター長付 原賀久人

(略歴)

- 1980年 九州大学 工学研究科 機械工学専攻 修士課程修了
- 1980年～ (株)小松製作所 技術研究所 (NEDO委託「高効率ランキンボトムシグガスエンジン」開発)
- 1987年～ 東陶機器(株) 商品研究所長(水廻りエレクトロニクス商品研究) 光フロント事業部長(光触媒製品事業)
- 2002年～ サンテックホールディング(株) 専務取締役(大型スパッタリング装置による光学薄膜コーティング事業)
- 2004年～ YKK AP(株) (JST委託「大面積ECRプラズマ支援スパッタリング法による自浄性ガラス製造技術」開発)
- 2006年～ 原賀インキュベーター 代表

【発表者からのメッセージ】

従来光触媒技術課題である高活性・高耐久光触媒皮膜作製を可能とした「低温高速フレイム溶射技術」、及び可視光低照度下でも光触媒機能を発現する九工大横野先生開発の「高活性硫黄ドーブ可視光応答型光触媒材料」による抗菌製品の開発と商品化についてご紹介させていただきます。

テーマ：高活性可視光応答型光触媒の防カビ効果について

【発表者のプロフィール】

○株式会社西井塗料産業 新機能コーティング材担当部長 斉藤暢生

(略歴)

- 京都大学 工学部 工業化学科 修士課程修了
- 東陶機器(株)に入社し、セラミック事業、光触媒事業に関係する。
- 東陶機器退社後、西井塗料産業に入社し光触媒を中心とした新機能コーティング材の拡販と開発に携わる。

【発表者からのメッセージ】

光触媒技術はまだまだその機能を引き出していないのが現状です。特に分解用途はよりきめ細かく検討する必要があります。今回は、横野先生開発のSドーブ可視光応答型光触媒を用いることにより、防カビ効果が上がった事例を紹介させていただきます。